

医療センターニュース

編集/三重県立総合医療センター広報編集委員会 <http://www.mie-gmc.jp/>
 〒510-8561 四日市市大字日永5450-132 TEL(059)345-2321(代表) E-mail:sogohos@mie-gmc.jp

外来診療医師担当表

平成29年8月1日現在

		月	火	水	木	金
総合内科	初診	1診 白木	1診 前田ゆり	1診 鶴賀	1診 水谷	1診 担当医
消化器内科	初診	2診 大矢	2診 井上	2診 白木	2診 森谷/西浦	2診 山中/菅
消化器内科	再診	3診 井上	3診 高瀬	3診 西浦(午前)	3診 山中	3診 大矢
消化器内科	再診		森谷	4診 菅(午前)	4診 高瀬(午前)	
循環器内科	再診	4診 動脈硬化・血管外科 牧野	4診		白木(午後)	4診 不整脈外来 藤田
循環器内科	初診	5診 廣田	5診 仲田	5診 加藤	5診	5診 牧野
循環器内科	再診	6診 中嶋	6診 加藤	6診 仲田	6診 中嶋	6診 廣田
循環器内科	再診				牧野	ペースメーカー 仲田
<small>※総合内科金曜日(1診)は1週目:菅、2週目:山中、3週目:西浦、4週目:森谷、5週目:白木 ※消化器内科木曜日(2診)は森谷が第1・3・5週目、西浦が第2・4週目診察 ※消化器内科金曜日(2診)は山中が第1・3・5週目、菅が第2・4週目診察 ※循環器内科金曜日のペースメーカー外来は第4週目のみ</small>						
呼吸器センター	初診	1診 吉田	1診 油田	1診 藤原	1診 寺島	1診 前田光
	再診	2診 児玉		2診 児玉	2診 前田光	2診 藤原
	再診	3診 寺島		3診 笹邊	3診 吉田	3診 油田
消化器・一般外科	1診	毛利靖彦	1診(午前) 担当医	1診 尾嶋	1診 毛利靖彦	1診(午前) 川村/野口
	2診	尾嶋	2診 大竹(小児外科)	2診(午前) 池田	2診 毛利智美	
	3診	伊藤		3診 渡部		
	がんサポート室 渡部(緩和外来)				がんサポート室 渡部(緩和外来)	
乳腺外科	予約診	乳腺外来	3診 山下		3診 山下 予約診	予約診 乳腺外来
<small>※金曜日1診は、川村が第1・3・5週目、野口が第2・4週目診察</small>						
心血管外科/呼吸器外科			1診 鈴木	1診 近藤		1診 矢田
脳神経外科	1診	深澤	1診 深澤	1診 田代	予約診 担当医	1診 梅田
	2診	亀井	2診 山道			2診 亀井
神経内科	初診(午前のみ)	鈴木	予約診 鈴木	初診 担当医	初診/予約診 鈴木	予約診 古田
	初診	三木(10時~)	初診 古田	紹介予約制 ものわずれ外来(交代制)	林	初診 加藤
<small>※水曜日は第1週・第3週のみ、第2週・第4週・第5週は完全休診 ※木曜日は鈴木(1診) 予約診が第1・第3週目、初診が第2・第4週目診察、林(2診) 初診が第1・第3週目、予約診が第2・第4週目診察</small>						
小児科	1診	杉山	1診 西森	予約 太田	1診 太田	1診 杉山
	2診	小川	2診 清	予約 杉山	2診 大森	2診 櫻井
	3診	櫻井	3診 太田	予約 大森	3診 西森	3診 小川
	4診	清	予約 予約医師	時間外/紹介 清/小川		4診 清
産婦人科	1診(初診)	中野	1診(初診) 田中 10:30~	1診(初診) 秋山	1診 朝倉 (朝倉が手術時には谷口)	1診(初診) 小林
	1診(午後)	母体胎児診断	10:30~ 中野(午後)			
	2診(初診)	担当医 (9:30~14:00)	2診 小林	2診 谷口	2診(初診) 担当医 (9:30~14:00) 午後 1ヶ月検診	2診 脇坂
	3診	井澤	3診 朝倉	3診 田中	3診 たんぼぼ (助産師)外来	3診(午前) 朝倉 3診(午後) 小田
4診	たんぼぼ (助産師)外来	4診 秋山	4診 井澤	4診 リンパ浮腫 ケア外来	4診(午前) 谷口 4診(午後)	
整形外科	1診(午前)	北尾 (紹介、診、局)	1診(午前) 北尾 (整形外科外来(再診))		1診(午前) 森本 (再診)	1診(午前) 森本 (紹介、初診)
	1診(午後)		1診(午後) 北尾 (再診)		1診(午後)	
	2診(午前)	柿本 (紹介、初診)	2診(午前) 奥山 (紹介、初診)		2診(午前) 矢田 (紹介、初診)	
	2診(午後)		2診(午後) 奥山 (再診)		2診(午後) 矢田 (再診)	
	3診(午前)	矢田 (紹介、再診)	3診(午前) 柿本 (紹介、再診)		3診(午前) 奥山 (紹介、再診)	3診(午前) 千賀 (紹介)
3診(午後)		3診(午後) 千賀 (再診)		3診(午後) 柿本 (再診)		
皮膚科	1診	土田	1診 加古	1診 加古	1診 横田	1診 加古
泌尿器科	1診	荒瀬	予約診 堀 (男性外来)	1診 景山	1診 栃木	1診 松浦
	予約診	松浦		予約診 荒瀬	予約診 松浦	予約診 荒瀬
眼科	1診	佐宗	1診 佐宗 午後休診	1診 佐宗	1診 佐宗	1診 佐宗
耳鼻いんこう科	1診	鈴村	1診 鈴村	1診 鈴村	1診 鈴村	1診 鈴村
精神科	1診	山下	1診 山下	1診 山下	1診 山下	1診 山下
放射線科	1診	佐貴	1診 佐貴	1診 佐貴	1診 佐貴	1診 佐貴

※都合により変更することがありますので、最新の担当表をホームページかお電話でご確認ください。



今年4月に採用となった職員です。約半年間、業務に取り組み、医療の現場にも慣れてきました。当院の将来を担う職員です。どうぞご期待ください。

県立総合医療センターの基本理念・基本方針

基本理念

- 救命救急、高度、特殊医療等を提供することにより、県の医療水準の向上に貢献します。
- 安全・安心で互いにささえあう社会の実現に向けて医療面から貢献します。

基本方針

- 患者の皆様の権利を尊重し、信頼と満足の得られるチーム医療を提供します。
- 県の基幹病院として医療水準の向上に努めるとともに、医療人材の育成に貢献します。
- 県内医療機関との連携を強化し、地域医療の充実に努めます。
- 職場環境を改善し、職員のモチベーション向上に努めます。
- 責任と権限を明確にした自律的・自主的な経営を行います。

もくじ

県立総合医療センターの基本理念・基本方針	1	へい！ドクター ちよと、おしえ〜て！	
新任医師紹介	2	腹腔鏡手術とは(渡部医師)	5
初期臨床研修医の採用	3	かかりつけ医をみつけよう	
持参薬の管理にご協力ください	3	このとり WOMEN'S CARE クリニック	6
不整脈外来を開設しました	4	ひなが胃腸内科・乳腺外科	7
新たな専門医資格を取得しました	4	外来診療医師担当表	8

新任医師紹介



佐貫 直子
 診療科名
放射線治療科
 専門・資格
日本放射線医学会専門医(放射線治療)、
日本がん治療認定医機構がん治療認定医
 前任地：大船中央病院

山口 佳子
 診療科名
小児科
 専門・資格
日本小児科学会専門医・
指導医
 前任地：三重大学医学部附属病院

毛利 靖彦
 診療科名
消化器・一般外科
 専門・資格
日本消化器外科学会専門医・
指導医・評議員、日本大腸肛
門病学会専門医・指導医・評
議員、日本食道学会食道認定
医・評議員、日本消化器内視鏡学会専門医、日本がん
治療認定医機構認定医、日本胃癌学会評議員
 前任地：三重大学医学部附属病院

山下 雅子
 診療科名
乳腺外科
 専門・資格
日本外科学会専門医、
日本乳癌学会乳腺専門
医、マンモグラフィー
読影認定医、乳房再建
用エキスパンダー/インプラント責任医師
 前任地：三重大学医学部附属病院

大竹 耕平
 診療科名
消化器・一般外科
 専門・資格
日本外科学会専門医、日本小
児外科学会専門医、日本がん
治療認定医機構認定医、日本
小児血液・がん学会小児がん
認定外科医、日本内視鏡外科学会技術認定医(小児
外科分野)、大腸肛門病学会専門医・指導医
 前任地：三重大学医学部附属病院

仲田 智之
 診療科名
循環器内科
 専門・資格
循環器内科
 前任地：永井病院

今岡 祐基
 診療科名
消化器・一般外科
 専門・資格
消化器外科
 前任地：三重大学医学部附属病院

矢田 祐基
 診療科名
整形外科
 専門・資格
日本整形外科学会専門
医、日本体育協会認定
スポーツドクター
 前任地：三重大学医学部附属病院

加藤 誉史
 診療科名
循環器内科
 専門・資格
日本内科学会認定医
 前任地：済生会熊本病
院

千賀 佳幸
 診療科名
整形外科
 専門・資格
日本医師会認定健康ス
ポーツ医
 前任地：鈴鹿回生病院

鶴賀 龍樹
 診療科名
後期研修医
 専門・資格
内科
 前任地：鈴鹿中央総合
病院

脇坂 太貴
 診療科名
後期研修医
 専門・資格
産婦人科
 前任地：三重大学医学部附属病院

林 理絵
 診療科名
後期研修医
 専門・資格
神経内科
 前任地：三重大学医学部附属病院

今年度、新たに10名の初期臨床研修医を採用しました

今年度、新たに10名の初期研修医を採用し、4月から様々な診療科で研修しています。診療能力の向上に向け、シミュレーターを活用した研修や研修プログラムの充実に努めるとともに、診療技術の習得に関する指導・研修体制の整備を図り、優れた医師の育成に努めてまいります。



持参薬の管理にご協力ください

入院される際には、普段使用している薬やその袋、お薬手帳を必ずお持ちください。入院後の治療を適切に行うため、持参薬に関する正確な情報を把握する必要があります。普段使用している薬であっても、手術や検査にあたり一時的に服用等を中止する必要がある薬も多くあります。また、入院後の治療に伴って処方される薬と持参薬との飲み合わせで危険な相互作用があるか判断することも重要です。このほか、同様の効能を有する薬の重複した処方を防ぐことにより、医療費の削減にもつながります。安全に治療を受けていただくため、当院で処方した薬に限らず、他院で処方された薬についても確認させていただきますので、ご理解とご協力をお願いします。

※持参薬とは、患者さんが当院へ入院されるときに、持ち込まれる普段使用している薬(飲み薬や点眼薬、貼り薬、注射などのすべての薬)のことです。

不整脈外来を開設しました

日本人の死亡原因の第1位はがんですが、死亡原因に関わる臓器では心臓が重要な位置を占めています。心臓疾患は、心筋梗塞をはじめとする虚血性心疾患、心肺機能の低下を原因となる心不全、不整脈の大きく3種類に分類されます。

不整脈とは、本来規則正しく拍動する脈が乱れることを言います。動悸や「脈がとぶ」、めまいといった症状で現れることが多く、心停止につながる重篤な不整脈もあることから、注意が必要な疾患です。また、若年者にも症状が見られる一方で、高齢化社会の進行に伴い、有病率も増加するとともに、その治療方法の進歩により、注目されている分野でもあります。そこで、当院では今年度より、不整脈の治療体制を強化し、「不整脈外来」を開設しました。毎週金曜日に日本不整脈心電学会専門医が診察いたします。不整脈の確定診断を適切に行い、病状に応じて、薬剤による治療や、「アブレーション治療」(カテーテルを血管に挿入し、高周波電流で病変部位を遮断する治療です)を行い、病状のコントロール、根治をめざします。

不整脈にかかわる症状におこころあたりのある場合は、お近くの医療機関を受診のうえ、不整脈外来への紹介についてご相談ください。



新たな専門医資格を取得しました

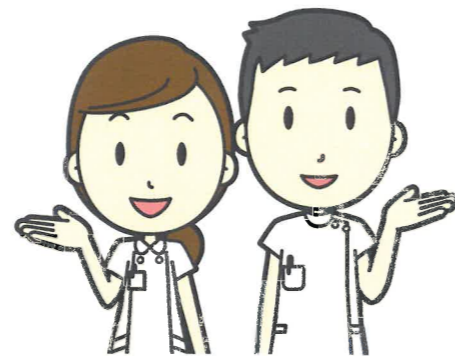
このたび、消化器・一般外科の渡部秀樹医師が日本内視鏡外科学会技術認定医(消化器・一般外科領域)の資格を取得しました。

この資格は、体に負担の少ない「腹腔鏡手術」について、高い技術や経験、知識があるだけでなく、他の外科医に指導する能力が備わっていることを学会として認定するものです。外科系の専門資格の中で最も難易度の高いものの一つで、消化器・一般外科領域の認定医は三重県内に14人です。

現在当院には、渡部医師以外にも下記の内視鏡学会技術認定医が在籍しており、腹腔鏡手術に関する診療体制が充実しています。

- 尾嶋英紀医師 消化器・一般外科領域
- 大竹耕平医師 小児外科領域
- 田中浩彦医師 産婦人科領域

今後も、当院の役割である高度かつ専門的で、体に負担の少ない医療を提供できるよう、必要な医師の配置や専門医・認定医資格の取得に向けた支援などを行い、さらなる診療体制の充実・強化に努めていきます。



地域医療機関の先生方へ 救急外来への患者さんの紹介についてのお願い

救急外来へご紹介いただく患者さんの状態は、一刻を争うことが多々あります。

正確な情報が必要となりますので、地域連携課を通さずに、**代表電話(059-345-2321)**を通して、救急外来担当医師と直接お話をさせていただきますようお願いいたします。

ハイ! ドクター ちょっと、おしえ〜て!!

消化器・一般外科 医長
日本内視鏡外科学会技術認定医
渡部 秀樹



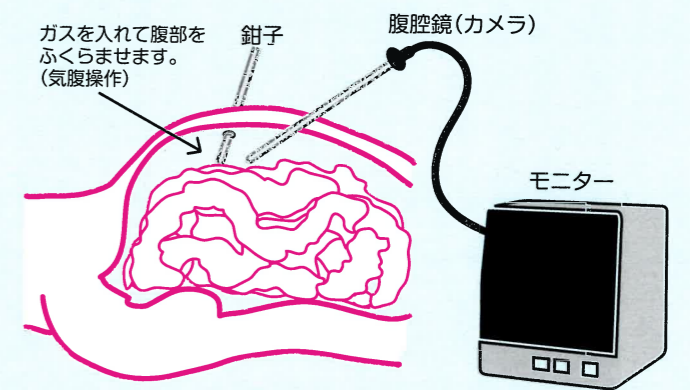
腹腔鏡手術とは

腹腔鏡手術は小さな切開創から腹部の内側にカメラを挿入し、モニター画面に映し出される術野を見ながら、別の切開創(手術により2~4か所)から挿入した専用の手術器具を使って病変部の切除を行う手術です。

腹腔鏡手術は1980年にドイツの婦人科医師により初めて虫垂切除術が行われました。その後、1987年にフランスの外科医によりビデオカメラを取り付けたテレビモニターで映し出された映像で胆嚢摘出術が行われ、以後世界的に普及しました。

日本では1990年に初めて腹腔鏡を用いた胆嚢摘出術が行われ、1992年に健康保険の対象となり急速に普及し、現在では、胆嚢摘出術は腹腔鏡手術が標準術式となりました。

がんの治療にも腹腔鏡手術が拡がり、大腸癌は1996年に早期大腸癌が保険適応となり、2002年には進行癌も対象となりました。胃癌については2002年に保険適応となりました。



腹腔鏡手術のメリットとして

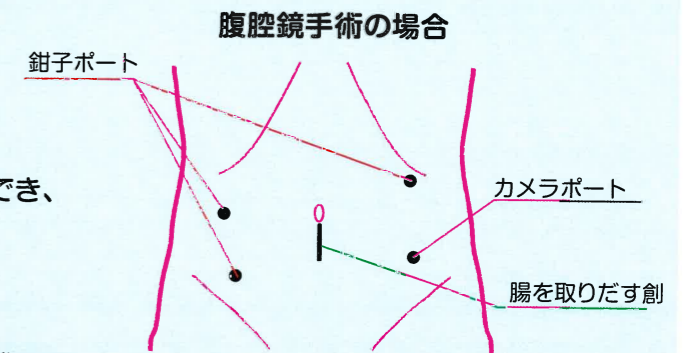
- ①痛みが軽く身体への負担が比較的少ない。
- ②創が小さく目立たない。
- ③術後の回復が早く入院期間が短い。
- ④癒着が少なく腸閉塞が少ない。
- ⑤拡大鏡を使って肉眼ではわかりづらい病変部も確認でき、より精密な手術が可能。

などがあげられますが、

- ①手術時間が長くなる傾向がある。
- ②指で直接臓器に触れることができず、また、特殊な機器を扱うため習熟した技術が要求される。

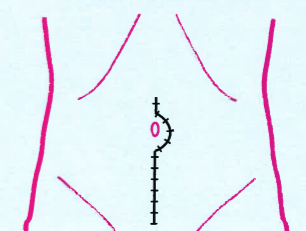
などのデメリットもあげられます。

当院は、日本内視鏡外科学会技術認定医が複数在籍するなど、内視鏡手術を安全に行うことのできる施設となっており、大腸がんをはじめとした消化管のがんや婦人科がんなどに対して、腹腔鏡手術に積極的に取り組んでいます。



※施設によってポート(穴)の位置は多少異なります。

開腹手術の場合



かかりつけ医をみつけよう

このとり WOMEN'S CARE クリニック 院長 澤村 茂樹

診療科目

産科(分娩を除く)・婦人科・産婦人科
(生殖医療)・高度生殖医療(体外受精)

外来受付時間

9:30	月	火	水	木	金	土	日
12:30	○	○	○	○	○	○	△
15:30	月	火	水	木	金	土	日
19:00	○	○	△	○	○	△	△

※すべて予約制

休診日

日曜日、祝日、水曜日午後、土曜日午後



所在地

〒510-0086 四日市市諏訪栄町176番地
ローレルタワーシュロア四日市 204
TEL 059-350-5577



このとりWOMEN'S CAREクリニックの澤村茂樹と申します。名古屋大学医学部を平成2年に卒業、脳神経外科医の大学院を卒業、その後、産婦人科に転向したという変わり種です。産婦人科の手技は三重大学および関連病院にて研修させていただきました。その後、東京のJISART(日本生殖補助医療標準化機関)認定施設にて研修、岐阜で不妊治療を実践しつつ、体外受精チームを結成し、平成21年に近鉄四日市市駅近、旧ジャスコ跡地のマンションの2階に外来だけの産婦人科クリニックを開院いたしました。

医療上の特徴としましては、卵管鏡/カテーテルまで行える子宮鏡検査、体外受精・顕微授精を始めとする不妊治療ですが、電子カルテと連動したPC/スマホ予約システムを利用した極力お待たせしない外来を心がけております。駅近でありますため、更年期障害の治療、学生の生理不順の治療、性感染症の治療、プラセンタ注射なども多いのかなと、思っております。

三重県立医療総合センター産婦人科の朝倉徹先生には、20年ほど前に松阪市民病院時代に直属の上司としてご指導いただきました。長い臨床経験と堅実な技術に裏打ちされた診療、人の好さが滲み出る先生で、安心して当院でお世話しました妊婦様を送り出ささせていただいております。

それより以前、県立志摩病院へ短期間だけ役に立たない非常勤勤務として勉強させていただきました際に、部長でいらした田中浩彦先生は、その頃から腹腔鏡手術に積極的でした。

その後、自分も腹腔鏡手術を手習い始めましたが、やはりセンスと経験がモノをいう世界だなと思われました。四日市には、田中先生という名手がいらっしゃるという幸運を、皆様には是非噛み締めていただきたいと思います。

これら両先生を束ねられております谷口先生は、当院が急遽、搬送させていただいてもいつも快く受け入れていただき、またご丁寧なお返事をいただいております。

今後も、MRI検査、手術、分娩など患者様の依頼でお世話になることも多いと思いますが、宜しくお願いたします。



ひなが胃腸内科・乳腺外科 院長 久野 泰

診療科目

胃腸内科・乳腺外科、内科、肛門内科・肛門外科

外来受付時間

9:00	月	火	水	木	金	土	日
12:00	○	○	△	○	○	○	○
15:00	月	火	水	木	金	土	日
18:00	○	○	△	○	△	☆	△

☆土曜日は14:00~17:00

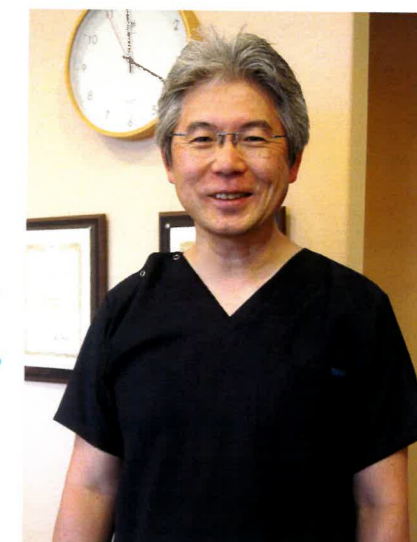
休診日

祝日、水曜日、金・日曜日午後



所在地

〒510-0885 三重県四日市市日永1丁目
13-26
TEL 059-349-1811



当院はあすなろう鉄道の日永駅前にあります。すでに開業して8年が経ちました。診療内容は、乳腺、消化器、肛門科、内科一般です。

乳腺に関しては検診だけでなく、異常が見つかった際には針生検等の精密検査を行なっています。また、当院休診日の水曜日に市立四日市病院に行って手術をしています。乳癌手術前後の抗がん剤やホルモン剤等の薬物治療等は当院で行っています。また、消化器に関しては胃・大腸の内視鏡検査やエコー検査等を行っています。地域医療に貢献すべく、開業以来頑張って土日も診療を行っています。急患や詳しい検査や治療が必要になった際は、患者さんの希望等もお聞きして県立総合センターや市立四日市病院等へ紹介をさせていただいています。県立医療センターは救急や休日等に受診の依頼をさせていただいた際もスムーズに診ていただけるので非常に心強く、感謝しております。

今後も開業医としての役割を果たすべく、地域に貢献していきたいと思っています。

サプリメントを利用されていますか?



サプリメントは、健康の維持、栄養成分の補給、疲労回復、ダイエット、病気の予防のほか、病気の治療目的などにも広く利用されており、国立健康・栄養研究所の調査では、約8割の人に利用経験があり、約3割の人は毎日利用しているようです。利用者は成人だけでなく、学生や幼児まで拡大しており、製品の購入経路は店頭だけでなく、インターネット等を介したものや、通信販売も増加しています。

ところが、サプリメントという言葉には行政的な定義がなく、すべてのサプリメントの有効性や安全性が確立しているわけではありません。また、サプリメントの中には血糖を下げるもの、他の薬の効果を下げるもの、出血の危険性を高めるものなどがあり、病気への影響や、服用している医薬品との相互作用を考慮する必要があります。

サプリメントを利用する際の情報源は、製品の広告、家族や友人などの身近な人、テレビ・新聞等の割合が高くなっているようですが、サプリメントの利用が治療に影響する場合もありますので、受診の際には、普段利用しているサプリメントについてもお申し出ください。